

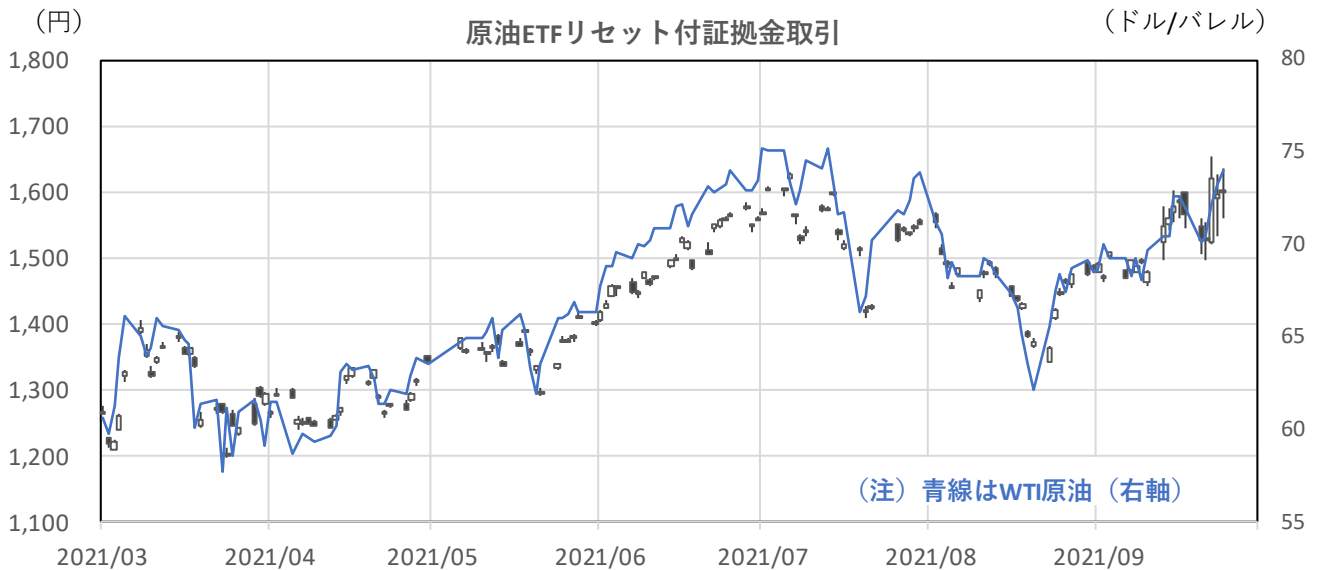
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/09/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需給ひっ迫見通しで7月中旬以来の高値更新

NY原油先物相場は、1バレル=69.39ドルまで下落した後、74ドル水準まで切り返す展開になった。中国不動産大手・中国恒大集団の経営不安がリスクオフ化を促したことで、原油相場も一時急落した。しかし、その後はリスク投資の地合いが改善に向かう一方、原油需給のひっ迫化に対する信頼感が急激に高まったことを背景に、7月14日以来の高値を更新している。

国際原油需給の引き締めに対する信頼感が強くなっている。7~8月は新型コロナウイルスによる需要不安を織り込む動きが優勢だったが、9月入りしてからアジア地区の感染被害が抑制されており、冬の需要期に向けての需要拡大に対して楽観的な見方が広がっている。また、供給サイドではメキシコ湾の原油生産の正常化にはまだ時間が必要との見方が強い一方、石油輸出国機構 (OPEC) プラスの増産能力に懐疑的な見方が広がっている。米原油在庫は7週連続の減少になっているが、需給ひっ迫化が更に進むとの見方が、原油相場を改めて大きく押し上げている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (9月17日時点) は、原油が前週比348万バレル減、ガソリンが347万バレル増、石油精製品が255万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

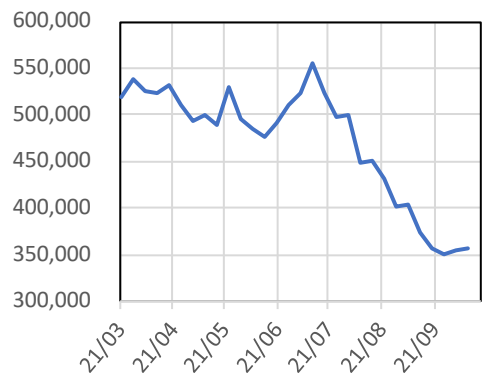
需給ひっ迫見通しで堅調か、中国リスクの暴走には要注意

需給ひっ迫化に対する信頼感が急激に高まり、原油相場の地合は引き締まる。8月23日には需給緩和懸念から61.74ドルまで急落していた相場だが、需給見通しが急変している。前週に続いて中国発のリスクオフ化に注意が求められるが、リスク投資の地合が安定化すれば、75.00ドルの節目、そして年初来高値76.98ドルを意識した展開になろう。

メキシコ湾の原油生産は回復が進んでいるが、年内の正常化は困難と見られている。ロイヤル・ダッチ・シェルは、マーズ原油の生産減少が来年初めまで続くとの見通しを示している。これを受けて、米製油所やアジア地区の顧客は中東産やロシア産などの調達拡大を迫られている。しかも、OPECプラスの増産能力が、投資不足や新型コロナウイルスによる保守作業の抑制などによって、大きく損なわれている可能性がReutersなどで報じられている。ナイジェリア、アンゴラ、カザフスタンなどが、産油量割当を満たす事に苦戦している模様であり、今後の需要拡大への対応能力に疑問の声が上がっている。このまま需給ひっ迫見通しの織り込みが続くと、原油相場は堅調地合が続くことになる。特に米原油在庫の減少傾向が続くと、買い安心感が一段と強まり易い。

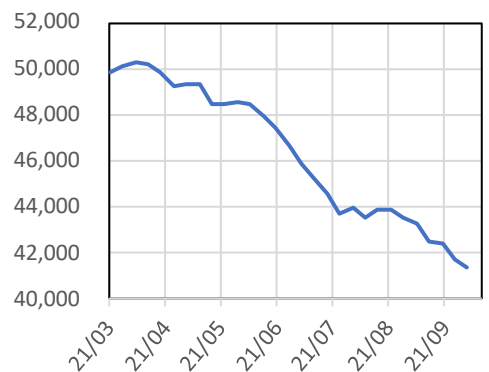
一方、中国恒大集団の経営不安は解消された訳ではなく、突発的なリスクオフが再開されると、原油需給環境に関係なく急反落するリスクを抱えている。どの程度のリスクがあるイベントなのかはマーケットの評価も割れているため、今後の展開には注意が求められる。また、ブレント原油が80ドルの節目に迫る中、過熱感が意識されると短期筋の利食い売りが膨らみ易くなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



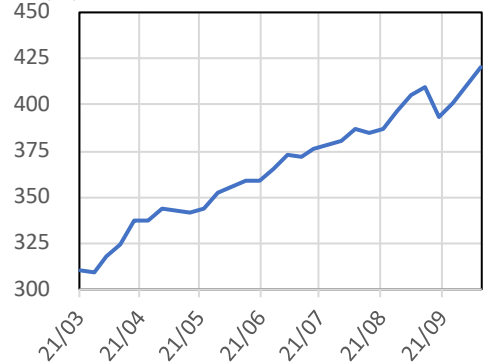
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

